



学校だより

わかまつ

鈴鹿市立若松小学校

№33

令和5年3月14日

防災学習を実施しました



3月10日(金)に、鈴鹿市内全小中学校において防災学習が実施されました。平成23年3月11日に起こった東日本大震災を風化させないために、被災した人たちの思いを知るとともに、自分たちの地域の特性を学び、南海トラフ地震に対してどのような備えが必要か考えるなど、防災意識を高めるのが目的です。本校では、2限後に全校で、地震発生を想定した避難訓練を行いました。少し話し声が聞こえたのは残念ですが、多くの児童は静かに素早く行動できていました。また、それぞれの学年・学級において、防災ノート、東日本大震災に関連した資料(動画資料、ワークシート)などを活用した学習を行いました。津波避難の原則「より早く」、「より遠く」をあらためて強く心に刻みました。



6年生 中学校の先生による出前授業

3月8日(水)4限目に、千代崎中学校の今野先生と、大木中学校の種瀬先生をはじめ4名の先生に来校いただき、出前授業を行いました。千代崎中学校へ進む児童は、教室で今野先生から国語の授業と学校行事や部活動などの中学校の生活についてお話を聞かせていただきました。大木中学校へ進む児童が集まった理科室では、班になって、酸性やアルカリ性など水溶液の性質について試薬を使って調べる実験をしました。実験を安全に行うために先生の指示に従って、班で協力しながら実験を行いました。わずか1時間の授業でしたが、入学前に中学校の生活や授業の様子を知ることができて子どもたちにとって新鮮な体験であったと思います。中学校へ進むことは不安もありますが、新しい出会いがあります。大きな夢と希望をもって進んでほしいと思います。



6年生が奉仕作業をしてくれました



3月10日(金)の5、6限、卒業を前に6年生が奉仕作業をしてくれました。お世話になった学校に、自分たちにできることは何かを考え行動にうつしてくれました。6年間いっぱい思い出のつまった校舎の側溝や窓の清掃、エアコンフィルターや給食台の汚れ落とし、体育館や階段の窓のクモの

巣除去、畑の草取りなどをしてくれました。6年生全員で、一生懸命に働いてきれいにしてくれました。ありがとうございます。周りの人たちに対しても、何ができるか考え、行動にうつしてほしいと思います。



交通事故に注意！！

3月に入って暖かい日が続くようになってきました。これからの季節は、子どもたちも外へ出かけて遊ぶ機会が増えてきます。交通事故にあわないようにまた危険な遊びをしないように以下のことに注意してください。大げがや事故につながることはありません。ご家庭でもご指導いただきますようお願いいたします。

◇道路に飛び出さない！

- 道路を渡るときは横断歩道を渡る。
- 横断する前は、「必ず立ち止まる」「左右をよく見る」「車が来ていないことや車が止まっているのを確認する」を実行する。

◇自転車に乗るときはヘルメットを着用する！

- 道路交通法が改正され、「自転車乗車時のヘルメット着用努力義務」について、令和5年4月26日までに施行（法を実施すること）されます。自分の命を守るために、自転車に乗るときには必ずヘルメットを着用しましょう。

◇道路で、危険な遊びは絶対にしない！

- 鈴鹿市内の道路でキックボードやスケートボード遊びによるトラブルが起きている。このような遊びは、大きな事故につながる危険行為なので、道路で絶対にしてはいけません。道路交通法という法律にも、これらの行為は禁止されており、違反の場合は、罰則が科されます。

<マスクの着用に関するお知らせ>

3月13日から『マスク着用の考え方の見直し』が適用されていますが、「学校における見直しは、4月1日から適用。それまでの間はこれまでの考え方に沿った対応を行う」となっています。従って、学校におけるマスク着用の基本的な考え方については卒業式以外の教育活動はこれまで通りとします。ただしマスクの着脱を強制しないこととしますのでご理解ご協力をお願いいたします。4月1日以降の対応については、あらためてお知らせいたします。